

Ensemble

Ensemble NOMAD 2005-06

アンサンブル・ノマド

定期演奏会 #30

企画紀要(企画)

本ノ編成(フルート)、管絃奏(クラリネット)、群口千代史(ヴァイオリン)、
甲斐史子(ヴァイオリン/ヴィオラ)、管絃知也(チェロ)、篠塚 暁(ピアノ)、中川賢一(ピアノ)、
グズト(桐 楽秀(オーボエ)、榎原重江(ファゴット)、藤部孝也(トランペット)、藤原顕彰(ホルン)、
廣村 隆(トロンボーン)

2006年3月4日[土] 15:00開演(14:30開場)

東京オペラシティリサイタルホール

Tokyo Opera City Recital Hall

※本公演のチケットは公演終了後、会場内各席の案内係に、観覧券が印刷されたチケットを1枚お取りいただけます。

○チケット(1回券) 一般 ¥5,000・学生 ¥2,000 (全自由席・消費税込)

電子チケットは 0570-02-9990 <http://r.pia.co.jp>

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

○お問い合わせ・ご予約:

東京コンサート TEL 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

主催: アンサンブル・ノマド

協成: MIRA ローム ユージック ファンデーション

財団法人 工業技術振興文化財団



平成17年度文化庁芸術振興活動重点支援事業

『20世紀の古典主義』

プログラムのほとんどは興大結成(1918~1945)に作られている。20世紀を代表する何人もの大作曲家が登場し個性を競い合った時代であり、また室内楽の名曲が多く生まれた時代でもある。新古典主義、12音主義、新印象主義、などなど様々な作曲技法によって語られることが多いが、現在の私たちも魅了し驚嘆させるのは、その無限の創造の有り様だ。

バルトーク(1881-1945) コントラスト(1930)

Edla Barak (1881-1945) Komnotti (1930)

群口千代史(1881-1945) 中川賢一(1930)

ヴァレーズ(1883-1965) 比叡 21.5 (1936/42)

Edgard Varèse (1883-1965) Densité 21.5 (1936/42)

本ノ編成(1930)

ストラヴィンスキー(1882-1971) 七重奏曲(1952-53)

Igor Stravinsky Stravinsky (1952-1953) Septet (1954)

群口千代史(1881-1945) 甲斐史子(1918) 管絃知也(1918) 藤原顕彰(1918) 篠塚 暁(1918)

ベルク(1885-1935) アダージョ(1935) [室内協奏曲(1925-24)第2楽章アダージョの作曲による編成]

Alban Berg (1885-1935) Adagio (1935)

管絃知也(1918) 甲斐史子(1918) 中川賢一(1930)

プーランク(1899-1963) 六重奏曲(1930-32/39-40)

Franco Poulenc (1899-1963) Sextuor (1930-32/39-40)

篠塚 暁(1918) 本ノ編成(1930) 桐 楽秀(1918) 管絃知也(1918) 藤原顕彰(1918)

ウェーベルン(1883-1945) 9つの楽器のための協奏曲 op.24(1934)

Anton von Webern (1883-1945) Konzert für 9 Instrumente op.24 (1934)

指揮: 企画紀要

本ノ編成(1930) 桐 楽秀(1918) 管絃知也(1918) 藤原顕彰(1918) 藤部孝也(1918) 廣村 隆(1918)

群口千代史(1881-1945) 甲斐史子(1918) 中川賢一(1930)



NOMAD

2005-06/#30